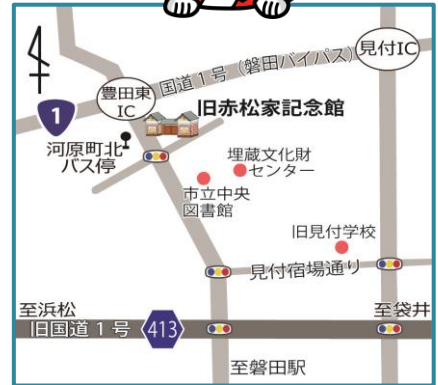


- 開館 15 周年 旧赤松家記念館  
新たな展示を大紹介! . . . P1~2
- いわたのこんなお話 万葉歌碑 . . . . . P3
- ふるさと歴史たんけん隊  
第1回の活動をおこないました! . . . . . P4
- コラム『磐田原台地西縁の遺跡』江間正典 . . . P4

# 開館 15 周年 旧赤松家記念館 新たな展示を大紹介!



©磐田市



旧赤松家記念館 入館無料

住所 磐田市見付 3884-10 電話番号 0538-36-0340

時間 午前9時~午後4時30分 休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始

開館 15 周年をむかえた旧赤松家記念館で、展示品の一部入れ替えをおこないました。今月の文化財だよりでは、新しく展示に加わった赤松則良の長男である範一のりよしのコレクションはんいちを特集します。ぜひ、ご覧ください。

## 旧赤松家記念館、赤松範一とは

旧赤松家記念館は、日本造船の父と称される赤松則良をはじめとする赤松家ゆかりの品、市指定文化財の槍・桐唐草紋食籠じきろうなどの展示をおこなっています。敷地内には県指定文化財の門・門番所、市指定文化財の米蔵と図書蔵があります。

赤松範一は、明治3年(1870)に則良の長男として生まれ、実業界、政界において活躍した人物です。大正6年(1917)に、則良の隠居に伴い家督を相続し、男爵の爵位も受け継ぎました。範一は、民俗学などにも精通し、江戸時代初期から明治・大正にかけての幅広い分野の貴重な書籍・資料を約3300冊所蔵する文化人としての一面もありました。

県指定文化財 赤松家門・門番所





## 新たな展示①ボンボニエール



昭和天皇ゆかりのボンボニエール

【※1 ボンボニエール】ヨーロッパで、慶事の際に贈る砂糖菓子を入れるための小型の菓子器。記念品として装飾性が高い。日本では、明治以降に皇室の公式行事の引き出物として贈られるようになった。

【※2 新嘗祭】天皇が新穀を神々に供え、収穫の感謝をし、豊穰を祈る祭儀。

昭和3年(1928)11月10日、昭和天皇が即位され、16・17日の2日間に計3回「大饗たいきょうの儀」が催されました。範一は17日夜の回に出席し、記念品として左のボンボニエール※1を頂きました。

ボンボニエールは、天皇が即位後初めて行う新嘗祭※2(大嘗祭)で使われる灯籠とうろうの形をしており、中には金平糖こんぺいとうが入れていました。

今回は、日本の四大財閥の一つと言われた安田財閥の2代目総帥・善之助の襲名記念で範一がいただいたボンボニエールもあわせて展示します。



安田善次郎襲名記念 ボンボニエール(丸・角)



## 新たな展示②薬籠やくろう

赤松範一の愛蔵品の一つです。薬籠※には蒔絵まきえがほどこされ、松や柳など山水画の世界が描かれています。また、象牙の根付ぞうげねつけは、狛犬の形をしており、背中や尾の毛の流れなどの細かい部分も彫り込まれています。

【※薬籠】印籠に似た3重~4重の重ね箱。薬を入れて携帯する。



薬籠と根付



## 新たな展示③煙管入れきせる

赤松範一の愛蔵品の一つで、微細工入りの象牙根付がつけられています。煙管入れには、能の「高砂」が描かれています。この能は、住吉の松と高砂の松が夫婦であるという伝説を素材とした天下泰平を祝福するもので、婚礼などの祝賀の小謡おめでたに使われるお目出度い題材です。根付にほどこされた細工とあわせ、ぜひじっくりご覧ください。



根付



能・高砂図入 煙管入れ

新元号発表当初から「令和」の出典として注目を集めている万葉集。市内にも万葉集の歌が刻まれた石碑があるのをご存知でしょうか。今回は、市内の万葉歌碑をご紹介します。

**遠江守と天皇の歌** (ワークピア磐田駐車場:見付 2989-3、今之浦公園:今之浦 3丁目 6)

ながつき

九月の その初雁の 使ひにも 思ふ心は 聞こえ来ぬかも  
 <遠江守桜井王の天皇への一首>

九月の初雁の使いによって、私の気持ちも届かないだろうか

大の浦 その長浜に 寄する波 ゆたけく君を 思ふこのころ  
 <天皇からの返歌>

大の浦の長い浜に寄せる波のように、ゆったりとあなたを思っているこの頃です

遠江（現在の静岡県西部）の長官であった桜井王の歌は、中国の故事『初雁の使い』※を用い、天皇への思いを歌っています。

一方、天皇の返歌は、思いを大の浦に寄せる波にたとえて詠んでいます。桜井王の在任期間から、歌の相手は聖武天皇であると考えられています。

【※初雁の使い】囚われの身の蘇武が雁に手紙をつけ放ったという故事



ワークピア磐田駐車場の石碑



今之浦公園の石碑

**長下郡出身の防人の歌** (御殿遺跡公園:中泉 2270-1)

かしこ

みことかがぶ

畏きや 命被り 明日ゆりや 草が共寝む 妹なしにして <物部秋持>

恐れ多くも（防人の）命をいただき明日から行く、妻もなく草と共に寝ることになるであろう

わが妻も 絵に描きとらむ 暇もが 旅行く我は 見つつ偲はむ <物部古麿>

私の妻の絵を描く暇があったならば、旅の中で見て偲ぶことが出来るのに

いずれも長下郡（現在の磐田市、浜松市の一部）の防人※が詠んだ歌です。万葉集には天平勝宝 7 年（755）の防人の歌が 84 首収められていますが、物部秋持の歌はその冒頭に記されています。また、物部古麿の歌は、妻の絵を携えたいという万葉集の他の句には見られない表現で家族への思いを詠んでいます。【※防人】九州の守備のために派遣された兵士



御殿遺跡公園の石碑

**磐田に関する地名が読み込まれた歌** (なぎの木会館:豊岡 6605-3)



なぎの木会館の石碑

遠江 志留波の磯と 尔閑の浦と  
 合ひてしあらば 言も通はむ <山名郡丈部川相>

遠江の志留波（白羽）の磯と尔閑の浦が繋がっていたのなら、言葉を交わすことも出来るのに

山名郡（現在の磐田市、袋井市の一部）の川相という人物が詠んだ歌です。「遠江」と童洋の白羽をさすとも考えられている「志留波」という、磐田に関する地名が詠み込まれています。

# ふるさと歴史たんけん隊

## 第1回の活動をおこないました！

文化財課では毎年、市内の小学校 5・6 年生を対象に楽しく歴史を学べる活動をおこなっています。

今年は全5回の開催で、8月2日の第1回の活動では、市内の遺跡から出土した土器や瓦の拓本、8月25日まで開催していた企画展の見学をしました。拓本体験では、本物の土器や瓦に触れたり、慣れない作業に始めは緊張しているように見えたが、次第に笑顔が増え積極的に質問も出るなど活発な活動が出来ました。企画展では、大きな仏像の頭や埴輪、古墳の模型に興味を示していました。体験



拓本作業



完成した拓本を手に記念撮影



や本物を見ることで、より地域の歴史への関心が深まったようでした。

### 職員リレー コラム

## 磐田原台地西縁の遺跡

江間 正典



先日、小学校の授業で遺跡見学の希望があり、<sup>ちょうしづか</sup>銚子塚古墳等の磐田原台地西縁の遺跡を案内する機会を得ました。

磐田原台地西縁には、国の史跡「史跡<sup>つげたり</sup>銚子塚古墳 附 小銚子塚古墳」をはじめ、県の史跡「米塚古墳群」、「長者屋敷遺跡」などの貴重な史跡が集まっていて遺跡を見学するには最適の場所です。ただ、遺跡は、どうしても他の文化財に比べると分かりづらく、説明が下手だと「面白くない。」と感じてしまいがちなため、「どうしたら興味を持ってもらえるか。」と思い悩み、現地に出向きました。すると、台地西縁からの天竜川のすばらしい眺望が目に飛び込んできました。

磐田原台地が現在の形になったのは、およそ3万年ぐらい前だと言われています。西縁付近にはその頃から人々の暮らした旧石器時代の痕跡が残り、古墳も西縁の眺望を意図してこの場所に造られたと考えられています。遺跡に囲まれた西縁で、はるか昔の人も見ただであろう景色を眺めていると、長い長い時間の流れを実感として感じられ、あらためて磐田の歴史の奥深さを感じることができました。子どもたちにも見せ、歴史の流れを感じてもらい、興味を持つきっかけになればと思いました。



磐田原台地西縁から天竜川を臨む

編集後記  
旧赤松家記念館では9/29まで、3才～小学6年生対象の「キッズのためのクイズラリー」も開催中です！新しい展示とあわせてお楽しみください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部  
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1  
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。



©磐田市

磐田市 文化財だより

検索